

平成27年度第1回秋田市中心市街地活性化協議会開催結果

平成27年6月30日（火）10時00分から、秋田商工会議所ホール80において、秋田市中心市街地活性化協議会を開催しましたので、その議事内容について公表します。

（議事内容）

○ 場 所 秋田商工会議所 7階 ホール80

○ 出席者 委員：18名 オブザーバー：17名（随行者4名） 計35名

○ 結果報告

【三浦廣巳会長の開会挨拶】

本日はご多忙のところご出席を賜り、御礼申しあげます。

前回の協議会でご協議いただいた「秋田市中心市街地活性化アクションプラン」は、中心市街地活性化基本計画が昨年6月で終了したことに伴い、当面の指針として第1期中活計画の総括および現状を踏まえて策定されました。この後、最終版についてご報告させていただきますが、活性化を図る対象エリアが第1期中活計画から拡大となり、新たに南通、横町、有楽町地区が加わっております。当協議会といたしましても、今回から新たな対象エリアとなる商店街の皆さま方にも委員として加わっていただき、相互の連携ネットワークを強めて参りたいと考えております。さらには、第2期中活計画の策定と認定についても、核となる事業の構築を進め、早期策定を継続して働きかけて参りたいと考えておりますので、皆様方からのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

ところで、新聞紙上等にも報道されておりますとおり、秋田商工会議所から市議会議長宛に「コンパクトシティの実現及び中心市街地活性化の更なる推進を求める陳情書」を提出させていただき、6月25日の総務委員会において採択され、このあと来月3日の本会議に諮られます。この陳情書は、秋田市が今年度策定する「次期総合計画」、「地方人口ビジョン・地方版総合戦略」において、これまで市が進めてきた「コンパクトシティの実現と中心市街地活性化の推進」の方針を堅持いただくよう、改選後初の市議会に求めたものです。この趣旨については、中心市街地活性化協議会の委員の皆様とも共有できるものと考えております。

本日は、平成26年度事業報告、収支決算および平成27年度事業計画（案）、収支予算（案）、さらには任期満了に伴う役員改選などについてご協議いただきますので、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申しあげ、開会のご挨拶といたします。

【委員紹介】

当協議会と秋田市とで策定した「秋田市中心市街地活性化アクションプラン」において活性化の対象エリアに加わった南通、有楽町、横町の3商店街会長および有識者として秋田大学・高橋康弘副理事、秋田公立美術大学・小杉栄次郎准教授の2名が新たに委員に加わった旨を紹

介した。

続いて、人事異動により秋田市都市整備部長が戸田郁夫氏に交替した旨を報告した。

【内容】

報告（１）「秋田市中心市街地活性化アクションプラン最終版」について、秋田市都市整備部都市総務課根田課長よりアクションプランの修正点について、対象エリアに南通、有楽町、横町の３地区を追加したことに伴い、定住人口の推移・基準値・目標値の修正および小売業年間商品販売額の基準値・目標値等修正した旨の報告があった。

続いて報告（２）「旧なかよしビル」について、ビルのオーナーである(有)すぐる不動産木村代表取締役より、旧なかよしビルについては建替ではなく、耐震工事を行うこととなった旨の説明があった。

報告（３）「市議会への陳情」、報告（４）「ミュージカル【政吉とフジタ】公演」については、事務局より報告した。

協議に入り、協議（１）「平成２６年度事業報告・収支決算」について事務局から説明後、佐々木監事より監査報告があり、原案通り了承された。

協議（２）「平成２７年度事業計画(案)・収支予算(案)」、協議（３）「【まちなかプロジェクトチーム】トライアル事業の受託」については関連があるため、事務局より一括して説明後、事業計画に関連がある仲小路振興会新開会長、(協)秋田市民市場進藤理事長、(公財)秋田観光コンベンション協会佐藤参事、(特非)トップスポーツコンソーシアム秋田佐藤理事長の４名からそれぞれ説明および報告があり、原案通り了承された。

協議（４）「任期満了に伴う役員改選」では、三浦会頭を会長に再任したほか、副会長、監事２名の全てが再任で承認された。

会議では、次のような質疑応答や意見が出された。

○報告（１）「秋田市中心市街地活性化アクションプラン最終版」について

木内委員（秋田まちづくり株）

確認であるが、第２期中活計画を策定するにはこのアクションプランに事業等の追加および修正を加えていくのか。また、このアクションプランがそのまま第２期中活計画となりうるのか。

秋田市都市整備部都市総務課 根田課長

アクションプランに追加・修正したものが第２期中活計画となる。中心市街地の活性化に資する事業がどのような事業になるかにより、コンセプトおよび基本方針も修正となるため、目標および目標指標とともに修正をしていく。内閣府との協議もあるので事業内容および区域を含め、改めて確認する作業がある。

佐々木委員（NPO 法人 秋田バリアフリーネットワーク）

目標値に売場面積は設定されているか。

秋田市都市整備部都市総務課 根田課長

売場面積は設定されていない。

○報告（２）「旧なかよしビル」について

佐々木委員（秋田市広小路商店街振興組合理事長）

旧なかよしビルの耐震工事のスケジュールについてお聞かせ願いたい。

有すぐる不動産 木村代表取締役

現在設計をしている段階であり、8月末に見積書を提出してもらい、9月に耐震工事の審査委員会を経て10月末～11月に着工する見通しである。イオンリテール株からは補助金の関係で来年度着工でもいいと言われているが、早い方が良いと思っている。私どもは耐震工事のほか内装工事を行い、リニューアル後の店内デザインはイオンリテール株が行うこととなっており、各テナントは営業を継続しながら耐震工事をしていく。完成の時期は未定である。

○報告（４）「ミュージカル【政吉とフジタ】公演」について

佐々木委員（秋田市広小路商店街振興組合理事長）

大変すばらしい試みであるが、先日開催した秋田市のアートオブプロジェクト会議の中で、県が小学生の団体に対してバスを無料で手配している助成措置があるが、市にはその情報が伝わっていなかった。改めて垣根を越えて、情報共有が出来る仕組みを作っていかなければならないと実感した次第である。

三浦会長

秋田県も実行委員会メンバーに入っており、今回のミュージカルは秋田市で開催されることから、秋田市が文化庁の支援を得て実施あり、秋田市の小・中学生は無料で招待をしている。秋田市以外の地域については、これから実行委員会が進めていかなければならないが、県の準備が整い次第、情報の漏れが無いように、多くの皆様にミュージカルを見ていただけるよう進めてまいりたい。

○仲小路「W プレミアムスタンプラリー」について

新開委員（仲小路振興会会長）

中通地区再開発事業が完了してから3年が経過し、にぎわい創出のため様々な取り組みを行っているが、アクションプランの小売業年間商品販売額の数値にも示すとおり、売上がなかなか伸びず、にぎわい再生についてはまだまだ道半ばである。そのような中、7月1日から秋田市プレミアム付商品券が販売され、消費者にとっても20%のプレミアムというのはインパクトのある事業だと思っている。その消費者をいち早く取り込むため、仲小路で「W プレミアムスタンプラリー」を行い、10月17日の仲の日、24日のハロウィンパレードのイベント時に抽選会を実施する。秋田市からも補助金をいただいているので、是非成功させたいと思っているので皆様からもご協力をいただきたい。

木内委員

この秋田市プレミアム付商品券は「なかいち@4の3」でも臨時販売所として販売するので、皆様には是非「なかいち@4の3」でプレミアム付商品券を購入してから、仲小路やなかいちで買い物をしていただきたい。

○協議（２）「平成２７年度事業計画（案）・収支予算（案）」について

仲小路振興会新開会長

昨年に引き続き、今年度の事業計画（案）に仲小路歩行者天国化トライアル事業を盛り込んでいただき、大変ありがたいと思う。この事業は一商店街の振興策ではなく、中心市街地の歩行者環境を改善するため、駅から「エリアなかいち」まで快適な歩行者空間を提供する視点であることから、是非皆様にご理解をいただきたい。また、商店街としても近い将来完全歩行者天国化を目指しているの、今までは土日のイベント開催時に通行量調査を実施していたが、今年度は平日に１週間通行量調査を実施し、比較検討したい。また、将来的に仲小路のアーケード設置の実現も視野に入れながら、段階的に整備していきたいと考えている。

（協）秋田市民市場進藤理事長

昨年度は「なんもだ〜」という市民市場が取り組んでいるサービスがわかりやすいように、秋田駅中央改札口に隣接する「ぼぼロード」にサインの設置を行い、観光客および市民の方々にPRを行った。今年度はお客様に試食をしていただきながら、市民市場ならではのサービスを提供し、「秋田の食の観光の発信地」となるように事業を計画している。

（公財）秋田観光コンベンション協会 佐藤参事

レンタサイクル運営について、平成２５年度は５台で運用して利用実績は７８７台の利用であった。平成２６年度は秋田市から自転車を３台寄贈していただき、８台で運用して利用実績は１，０７５台であり、２８８台増となった。昨年度末に当協議会より３台寄贈していただいて、平成２７年度は１１台で運用し、５月までの利用実績は平成２６年度の２０２台に対して、平成２７年度は２２４台と２２台増の利用実績となっており、レンタサイクルの利用は順調に推移している。

（特非）トップスポーツコンソーシアム秋田佐藤理事長

昨年度末に自転車を３台寄贈していただき、中心市街地の回遊性を高めるため、エリアなかいち内で４月からレンタサイクル事業の運営を開始した。まだ周知不足ということもあり、４月の利用実績は３台、５月は１３台、６月は１１台の利用実績に留まっている。潜在的に利用の希望が多いエリアだと思うので、公共施設・宿泊施設へのPRなどを行っていきたいと考えている。

閉 会